

平成 28 年秋期 ネットワークスペシャリスト試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2016,12,16

10月16日(日)に行われた平成28年秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、ネットワークスペシャリスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

■ネットワークスペシャリスト試験 (NW)

[平成 28 年秋期のネットワークスペシャリスト試験 統計情報]

応募者	18,096 人
受験者	11,946 人
合格者	1,840 人
合格率	15.4%

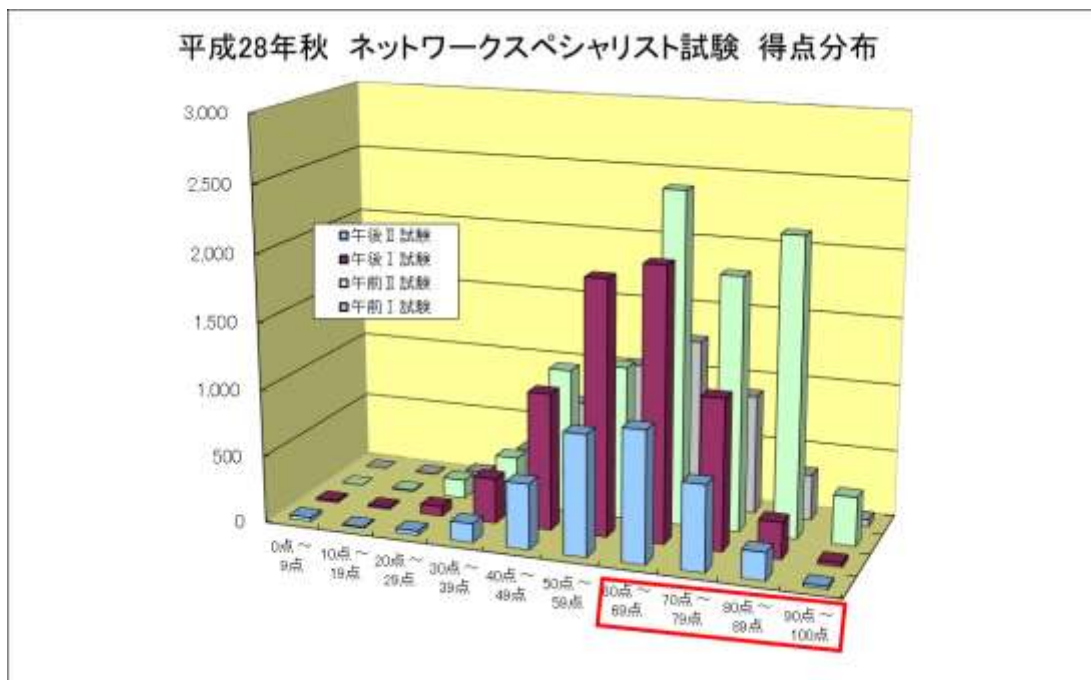
平成 28 年秋期のネットワークスペシャリスト試験の合格率は 15.4%で、前回の 14.6%に対して微増でした。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[平成 28 年秋 ネットワークスペシャリスト試験 スコア分布]

得点	午前 I 試験	午前 II 試験	午後 I 試験	午後 II 試験	合格者
0 点 ~ 9 点	0	1	17	29	
10 点 ~ 19 点	4	9	16	10	
20 点 ~ 29 点	64	140	73	32	
30 点 ~ 39 点	290	363	337	142	
40 点 ~ 49 点	704	1,080	1,022	488	
50 点 ~ 59 点	1,042	1,142	1,896	898	
60 点 ~ 69 点	1,265	2,467	2,025	976	
70 点 ~ 79 点	894	1,886	1,122	637	
80 点 ~ 89 点	341	2,208	273	206	
90 点 ~ 100 点	52	363	30	21	
計	4,656	9,659	6,811	3,439	1,840
対前試験比率		207.5%	70.5%	50.5%	53.5%
午前 I 免除者 (概数)	7,290	61.0%			

合格者数	1,840	採点者数の割	合格者数との
午前 I 60 点以上合計	2,552	54.8%	712
午前 II 60 点以上合計	6,924	71.7%	5,084
午後 I 60 点以上合計	3,450	50.7%	1,610
午後 II 60 点以上合計	1,840	53.5%	0



午前 I 試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で 7,290 人 (61.0%) おり、過半数の受験者の人が午前 II からの受験となりました。この比率で最近は推移しています。

次に午前 I 試験で基準点 (60 点) 以上の人は 2,552 人 (受験者の 54.8%) で、前回の 57.5% に比べて 3% ほど減少しました。問題自体は前回よりも少し難しかったといえます。

午前 II 試験で基準点以上の人は 6,924 人 (受験者の 71.7%) となっており、前回の 68.0% から少し増加しました。

午後 I で基準点 (60 点) 以上取れた人は 50.7% で、前回の 49.7% から 1% 増加しています。

最後に午後 II で基準点 (60 点) 以上取れた人は 53.5% で、こちらは前回の 53.5% と同じでした。

■平成 28 年秋期 ネットワークスペシャリスト試験 出題内容について

(午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題))

・高度試験に共通して出される問題 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれています。今回選ばれた問題内容は、計算問題が 5 問 (前回 2 問) と増え、基礎理論の計算問題が例年どおり少し難しかったことから、全体に少し難しく感じられた受験者が多かったと思われます。

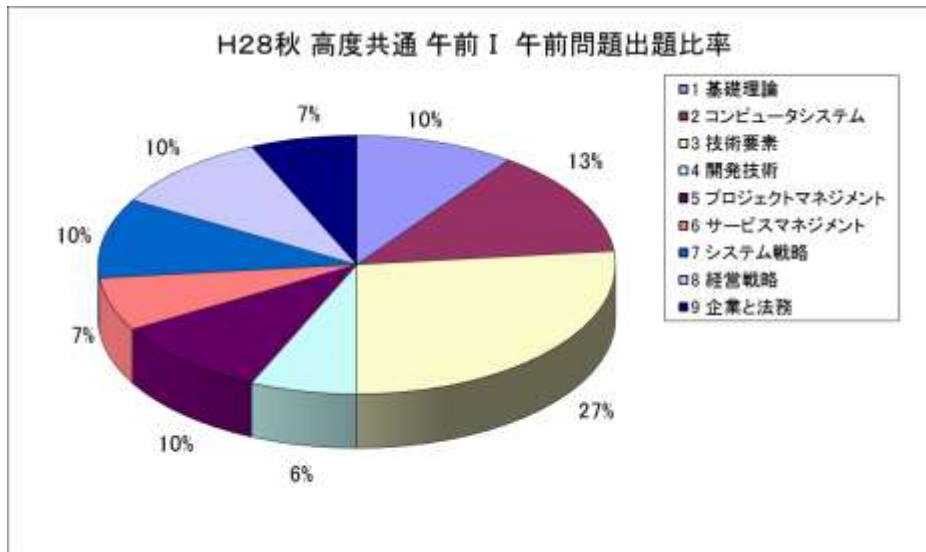
- ・過去問題の比率は約 6 割で従来どおりの比率です。
- ・分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で 23 ある中分類からまんべんなく出題されていますが、重要な内容 (中分類) からは複数出題されています。現在はセキュリティ分野を重視した出題になっており、出題数は前回と同じ 4 問でした。
- ・新傾向問題は次の 2 問で、前回と同じ出題数ですが、それ以前よりも少なくなっています。なお、問 9 のインデックスの問題はやや難問題でした。

(新傾向問題)

問 9 B+木インデックスのアクセス回数のオーダ

問 18 PMBOK の統合変更管理プロセス

平成 28 年秋期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



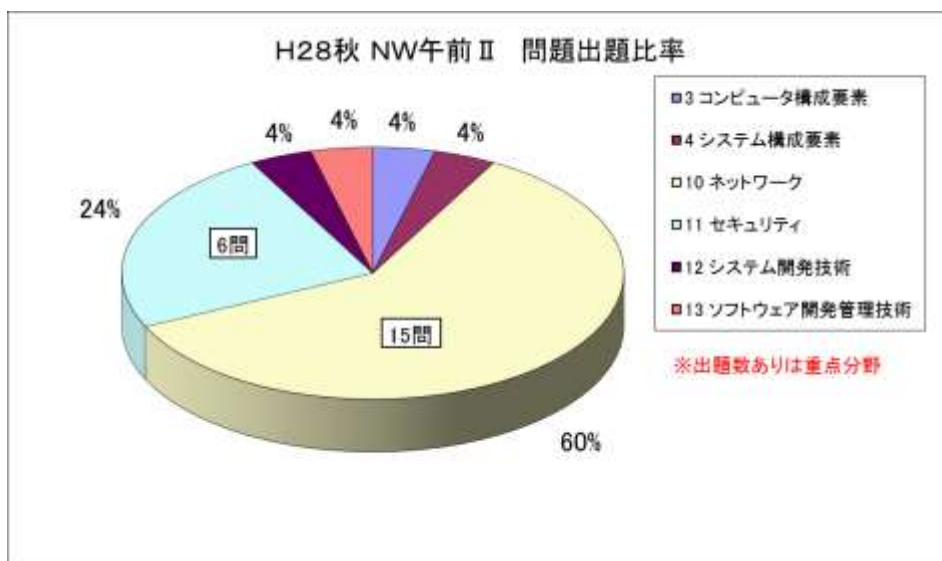
(午前 II 試験 (専門知識問題))

午前 II 試験では前々回の試験からセキュリティ問題の出題数が増えましたが、ネットワークとセキュリティの専門知識の出題数は 15 問と 6 問の合計 21 問で、前回と同じでした。

新傾向問題としては、次の問題がありました。

- 問 1 Automatic MDI/MDI-X の説明
- 問 6 Gratuitous ARP の説明
- 問 13 ルーティングテーブルに基づく転送先
- 問 15 WebSocket プロトコルの特徴
- 問 17 IEEE 802.1X が定めているもの
- 問 21 無線 AP のプライバシーパレータ機能の説明

平成 28 年秋期のネットワークスペシャリスト試験 午前 II 問題出題比率



(午後問題)

・午後Ⅰ問題の出題テーマと設問概要は、次のとおりです。問1と問3の2問が電子メール関連の問題になっています。

問1 電子メールシステム（製品の製造・販売会社） やや易～普通

迷惑メール送信防止策，OP25B，メール転送の概要，メール運用の検討，SPF導入，SPFレコードの設定，SMTPプロトコルのコマンド

問2 モバイルネットワークの検討（中堅の運送業者） 普通

モバイルネットワーク構成案，Wi-Fiルータ，無線LAN接続の検討，WPA2，ステルス機能，LTE回線，VPN接続の検討，プロキシサーバの検討，HTTPS，Request-URI

問3 メールサーバの更改（設定なし） 普通～やや難

現行NWの構成と仕様，DMZ上機器とサーバの通信，メールサーバの負荷分散と移行，移行工程，移行期間中のメール送信，メール転送経路，LDAPの情報

・午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。問1が問2に比べると少し解答しやすい問題でした。

問1 ネットワークシステムの拡張（工務店） やや易～普通

マルチホーミング，ビデオ電話・通話，スイッチに定義されたIPアドレス空間，AP間通信，NAT機能，社内IP電話機への通信，移行計画，TCPコネクション数，FW設定変更，FQDN

問2 WAN回線の冗長化設計（医療機器販売会社） 普通

インターネットVPN構築技術，IPsecルータ，IPsecの通信手順，設定されるパラメータ，トンネリング技術，カプセル化されたパケット形式，OSPF通信，WANの設計，PC-サーバのアクセス経路

•
•
•
iTEC